

説教余滴

《秋の夕べ》 内村鑑三

秋が来た／涼しき心地よい秋が来た
ああ愛すべき秋よ

老いが来た／静かなる黙示（しめし）に
富める老いが来た／ああ楽しき老いよ

この後に冬が来る／冷たき死と墓が来る
しかる後に、復活の春が来る

しかして最後（いやはて）に、永久変わ
らざる
清き涼しき、神のパラダイスの夏が来る
ああ感謝に満てる生涯よ

本作品は、飯島正久キリスト教講話集
『青春と宗教』1979年12月1日牧歌
社発行・所収

飯島先生は、学徒動員により陸軍通信学
校に入学。1944年12月修了、任官。教
官として新潟に配属されます。ここで敗
戦を迎える。同期幹部候補生は5名を残
し、281名はソ満国境とマニラ湾にて戦
死。

1946年、戦後帯広で生活することにな
り、帯広に疎開中だった内村門下の山本
泰次郎先生の知遇を得て師事し、コイネ
ー・ギリシア語と新約聖書の読み方を教
えられます。1947年、東京都港区芝白
金に「天現寺聖書講義所」開始。翌年
「港キリスト教会」（単立・独立）と改
称。「家庭の聖書月刊誌・牧歌」を創刊
し、1998年現在470号を数える。

1963年、港キリスト教会会堂を横浜市
港北区日吉に移転。1975年、八ヶ岳南
麓大泉村に居を移し、聖書研究と著作活
動に専念する。

飯島先生は、内村鑑三先生の孫弟子とい
う事になります。